

## 編集後記

一人でも多くの人に周知し、参加したいと思われ、参加して良かったと思っていただけたら、イベントに関わる者としてこの上ない喜びです。

さて、それぞれの家族は、年齢、性格、経験、学歴、体力、技能、感受性やライフスタイルなど異なるいろいろな人の集まりであることに気が付きます。社会には、もっと多様な人々が暮らしていることは言うまでもありません。イベントの企画では、その目的、対象者、何処で、何を、何時、どの様にするのか、多様な参加者の期待に応える方策を考えることになります。

現在では、個人の特徴・特性が不便・不利（障害）を作り出すのではなく、人工的な社会環境が障害を作り出すと考えられるようになりました。

階段やスロープなどの物理的環境、決め事（競技ルールなど）、情報伝達手段（点字、手話、分かりやすい文章、カラーUDなど）、多様な人々の理解・受け入れ（心のバリアフリー）への配慮が、イベントを成功に導く第一歩です。

チェックリストで、ユニバーサルデザインに挑戦してください。今後、皆様方からのご意見を参考に内容の充実につとめることにしています。新たなバリアフリーやユニバーサルデザインのご提案をお待ちしています。

発行人 とくしまユニバーサルデザイン県民会議

連絡先 とくしまユニバーサルデザイン県民会議事務局

徳島県保健福祉部 福祉こども局 地域福祉課

地域福祉・援護担当 TEL：088-621-2167

FAX：088-621-2839

E-mail：chiikifukushika@pref.tokushima.lg.jp

発行年月日 平成25年3月25日